

木育が地域にもたらす可能性

有限会社一場木工所 代表取締役 一場末帆 氏

木材の利用拡大を目指す上で、消費者の理解醸成は不可欠な要素であり、そのための木材教育は注目すべき重要なテーマです。本研究会では、これまで、埼玉大学の浅田茂裕教授、東京おもちゃ美術館の多田千尋館長、熊本大学の田口浩継教授など、木材利用教育に関するフロントランナーを月例研究会にお招きし、木育の現状と将来展望、木製知育玩具の事業性、STEAM教育における木材教育の位置づけなどについて議論してきました。



木材利用に関する教育の取り組みの一つである「木育」は、木に触れる体験の中で、問題解決力、非認知能力などの向上と、林業や環境に対する考えを学ぶなど教育としての位置づけ、いわば「木で人を育む」活動が中心だと考えられます。これに対して、「木と人を育む」、すなわち木材から学ぶことに留まらず、森林や木材に積極的に関わっていく人間を育てることを目指して活動している方々がいます。2025年2月の月例研究会では、木材事業者の立場で新たな「木育」に取り組んでおられる有限会社一場木工所の一場末帆氏を講師にお招きし、これまでの木育の取り組みについて御講義いただくとともに、大学や研究機関と共同で実施されている木育プログラムの効果検証の研究成果についてもご紹介いただきます。

一場氏は、「木育トラック manaviba」でウッドデザイン賞2024 林野庁長官賞を受賞するなど、現在、最も注目される木育の担い手のひとりです。その活動は木育に留まらず、木材製品向けの抗菌・抗ウイルス洗浄剤の開発やネズミサシの材部や成分の利用などの取り組みについて9年連続でウッドデザイン賞を受賞しているほか、大学や研究機関とも積極的に共同研究を行っています。当日は、これら木育以外の取り組みについてもご紹介頂く予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

～ 記 ～

- 日 時： 2025年2月13日（木）17：30～19：00
 - 会 場： ZOOM を利用したオンライン開催形式
 - 主 催： 木材利用システム研究会
 - 参 加 費： 会員：無料、非会員：3,000円
 - 申込期限： 2025年2月10日（月）
 - 申込方法： 研究会ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）から申し込みください。
- ※ZOOMへの登録方法については、お申込みいただいた方へ研究会ホームページ
研究会開催日の前日にお知らせする予定です。



木材利用システム研究会事務局：（長坂、知念）
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟 438室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp